

-2017年3月1日から2018年11月30日の間に当院に通院され、
体成分分析や握力および歩行速度を測定された患者さんへ-

「2型糖尿病患者におけるサルコペニアおよびフレイルの実態：後ろ向き予備的検討」へのご賛同とご参加のお願い

厚生労働省の平成28年国民健康・栄養調査において、「糖尿が強く疑われる者」は1000万人と推計されています。同時に、日本では世界に先駆けて進んでいる高齢化が社会問題となっていますが、糖尿病患者さんも高齢化します。近年、高齢化により介護が必要になる理由の中で、サルコペニアやフレイルといった筋力や体力の低下が注目されています。こうした筋力の低下を見つけるために、当院では2014年7月より体成分分析を行い筋肉量の評価を行っていました。その後、握力測定や歩行速度の測定も始めており、患者さんの筋力低下を早めに見つけられるよう努めております。

そこで本研究は、2型糖尿病患者におけるこれらサルコペニアおよびフレイルの指標に関し、外来患者の実態および、血糖の状態・糖尿病合併症との関連をカルテ情報から調べ、今後の糖尿病診療に資することを目的としています。

本研究は、香川県医師会倫理委員会より承認を得ております。本研究への参加に当たっては、患者さん個人が特定できるような個人情報やプライバシーは排除され、患者さんお一人お一人のプライバシーは厳重に秘匿されます。調査成績の公表などに関しても、患者さんのプライバシーは保護されます。研究期間は、倫理委員会承認日から半年間の予定です。また、この研究は既存の資料のみを用いた後方視的研究(過去に外来治療を受けられた患者さんの診療情報を調査して検討する研究)であるため、新たに人体試料は採取しません。したがって、この調査への参加によって、新たな経済的負担は発生しませんし、通常の診療で発生する有害事象(副作用)以外の新たな危険も発生しません。また、個人が直接特定されうる情報は匿名化を行った後に解析されますので漏洩することはありません。なお今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

本研究にあたり、この研究課題を実施する関係者には、武田薬品工業株式会社、サノフィ株式会社より、報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがありますが、研究内容に影響が及ばないように適正に管理しており、また研究の発表時にはこの事実関係を明示することになっています。

研究への参加を希望されない方、ご質問のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：

●E-mail: iwamotonaika@juno.ocn.ne.jp

TEL 0877-62-1075 FAX 0877-63-0202

岩本内科医院

問い合わせ担当者：岩本正博